



新たなモノづくりを次代へ

The Partner for Success

第35期 中間ビジネスレポート

2010年4月1日～2010年9月30日

株式会社 図研

## 連結財務ハイライト

	当第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期 2009年4月1日から 2009年9月30日まで	前期 2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高(百万円)	8,119	7,575	17,099
経常利益(百万円)	△272	△974	△369
純利益(百万円)	△237	△792	△90
総資産(百万円)	35,393	35,244	36,349
純資産(百万円)	28,058	28,154	28,697
1株当たり純資産	1,082円40銭	1,074円85銭	1,099円39銭

(注) 1. △は損失を表しております。  
2. 1株当たり純資産は期末発行済株式総数により算出してあります。なお、自己株式数は控除してあります。

## INDEX

1 連結財務ハイライト

2 株主の皆さまへ

3 特集

**新世代の電子機器設計  
プラットフォームを2011年に出荷。  
プロジェクトコード名「Triforce」**

5 四半期連結財務諸表

7 Zuken Innovation 2010 レポート

9 Zuken in Worldwide

10 会社情報／株式情報

## 株主の皆さまへ

### 世界から信頼されるパートナーとして、 最先端のITソリューションを提供し続けます。



代表取締役社長 **金子 真人**

株主の皆さまには平素のご厚情に、心より御礼申し上げます。

第35期中間ビジネスレポートをお届けするにあたり、業績および業務活動に関し、ご報告いたします。

### 業績について

当中間期の経済環境は、景気回復の兆しは見られたものの、欧州諸国の財政危機や為替変動の影響などもあり、厳しい状況で推移しました。当社グループの主要顧客であるエレクトロニクス製造業および自動車関連製造業においても、業績改善が進む一方で、需要回復に減速懸念があり、設備投資に慎重な姿勢が続いています。

このような中において、当中間期の連結売上高は、81億1千9百万円(前年同期比 7.2%増)と前年同期を上回る結果となりました。利益面につきましては、経常損失2億7千2百万円(前年同期 経常損失9億7千4百万円)、四半期純損失2億3千7百万円(前年同期 四半期純損失7億9千2百万円)と改善しました。

### 今後の取り組みについて

円高など当社の経営環境はいまだに楽観できない状況にあります。世界各国の先端的なモノづくり企業においては、競争力の高い製品開発を進めるとともに、製造に関わるすべての工程を、効率的に管理するITソリューションへのニーズが高まってきています。

また、2010年10月に開催した通算18回目となるプライベート展「Zuken Innovation 2010」では、過去最多となる申込みをいただき、海外からの参加を含む約30の講演・事例発表での熱気に、あらためて図研への期待の高さを認識しました。

そして、このプライベート展において、来年、リリース予定の次世代CADシステムの概要を初めてご紹介させていただきました。これらは、本誌にて紹介しています。ぜひ、ご参照ください。

図研は、今後も世界のモノづくりを総合的に支援するオンリーワンカンパニーとして、先端的ソフトウェアとサービスの創造に努めてまいります。一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

## 特集

# 新世代の電子機器設計 プラットフォームを2011年に出荷。 プロジェクトコード名「Triforce」

発売から15年を経て電子機器設計システム「CR-5000」は、世界のデファクトスタンダードとなりました。そして今、図研は、先端テクノロジーに対応する新システムの開発を進めています。「Triforce(トライフォース)」は、「CR-5000/Board Designer」との双方向データ互換を実現するとともに、PDM\*/PLM\*システムや各種IT環境との統合のための開発環境も装備しており、現在運用中の「CR-5000」設計環境に簡単に追加導入できます。また、従来の垂直統合設計製造のみならず水平分業など各種設計製造プロセスへもフレキシブルに対応します。革新性とシームレスな移行性・互換性をもつ「Triforce」にご期待ください。

\*PDM: Product Data Managementの略。設計・製造データを管理するシステムやその手法。  
\*PLM: Product Lifecycle Managementの略。企画から設計・生産、出荷後の顧客サポートなどすべての工程を包括的に管理するシステムやその手法。



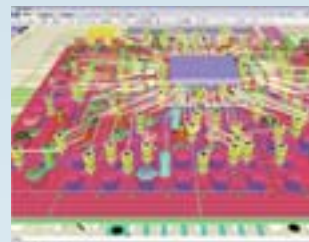
## 特長 ▲ 機能

### 従来の電子機器設計を覆す 画期的な機能。

システムの大規模化や複合化により、電子機器は複数の基板やモジュールによって構成されるようになりました。「Triforce」では、1枚の基板だけを設計対象とする従来の電子機器設計ツールを根本から見直して、半導体とパッケージ、モジュールとプリント基板といった複数を組み合わせた階層的な設計・検証機能を実現しました。



複数基板の設計が見やすく容易に



半導体-LSIパッケージ-PCBの複合設計

## 特長 ▲ パフォーマンス

### 最先端のテクノロジーを 活用し、圧倒的な パフォーマンス向上を実現。

最新ハードウェア技術や先端ソフトウェア技術を最大限に活用し、処理速度やグラフィックス表示において平均で10倍以上という飛躍的なパフォーマンスアップを実現しました。またサーバクライアント技術によるクラウド環境など最新ネットワーク構成においても速度低下を最小に抑える仕組みと構造を備えています。

#### ■ ネットワーク運用性の拡張

これまでのCAD環境	PC	サーバ
クライアント運用	データ ツール	—
データサーバ運用	—	データ

「Triforce」で可能になるCAD環境	PC	サーバ
ツールサーバ運用	データ	データ
クラウド運用	—	データ

#### ■ パフォーマンス速度比較

3D表示生成  
**28倍**

グラフィックス描画  
**6倍**

面自動補正/面生成  
**6倍**

\*「CR-5000/Board Designer Rev.1.1」との比較

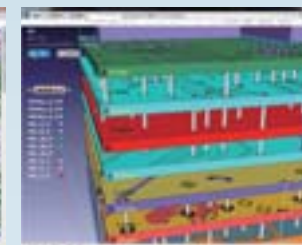
## 特長 ▲ 操作性

### 画期的なユーザーインター フェースの採用により、 操作性を大幅に向上。

複合化/複雑化する電子機器を容易に設計するために、2Dと3Dグラフィックスをシームレスに組み合わせた画期的なユーザーインターフェースを実現。加えて「タッチパッド」を用いた直感的操作性により、メニュー/コマンド体系を刷新。操作手数やコマンド入力を従来の半分以下に削減する大幅な操作性向上を実現しました。



タッチパッドによる直感的操作



3次元で自由自在な層構造編集

#### ■ 操作性の比較例

操作所要時間  
**1/6**

クリックを含む総手数  
**1/5**

最短マウス移動距離  
**1/5**

\*「CR-5000/Board Designer Rev.1.1」と「Triforce」で同じ設計作業をした場合の例

## 四半期連結財務諸表

## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

資産の部	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年9月30日現在	2009年9月30日現在	2010年3月31日現在
<b>流動資産</b>	<b>23,440,630</b>	<b>23,690,215</b>	<b>24,442,703</b>
現金及び預金	3,842,158	4,297,146	4,548,856
受取手形及び売掛金	3,486,889	2,597,688	4,127,226
有価証券	14,738,879	15,218,133	14,614,530
商品及び製品	106,676	37,236	76,971
仕掛品	77,256	122,446	58,262
原材料及び貯蔵品	13,266	98,219	11,844
その他	1,213,152	1,359,504	1,038,749
貸倒引当金	△37,648	△40,160	△33,737
<b>固定資産</b>	<b>11,952,881</b>	<b>11,554,133</b>	<b>11,906,963</b>
有形固定資産	6,910,181	7,139,629	7,010,594
建物及び構築物(純額)	3,552,962	3,698,159	3,626,624
土地	3,054,360	3,055,518	3,055,518
その他(純額)	302,859	385,951	328,451
無形固定資産	1,234,293	1,246,850	1,230,756
のれん	588,524	627,524	618,760
その他	645,768	619,325	611,996
投資その他の資産	3,808,406	3,167,654	3,665,611
<b>資産合計</b>	<b>35,393,511</b>	<b>35,244,349</b>	<b>36,349,666</b>

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 負債の部

(単位:千円)

負債の部	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年9月30日現在	2009年9月30日現在	2010年3月31日現在
<b>流動負債</b>	<b>4,416,340</b>	<b>4,367,293</b>	<b>4,882,542</b>
買掛金	317,368	280,593	648,975
未払法人税等	109,758	62,932	285,060
賞与引当金	671,478	683,243	741,041
その他の引当金	27,960	18,709	34,771
その他	3,289,774	3,321,814	3,172,694
<b>固定負債</b>	<b>2,918,315</b>	<b>2,722,070</b>	<b>2,769,808</b>
退職給付引当金	2,702,325	2,562,030	2,613,575
その他	215,989	160,039	156,233
<b>負債合計</b>	<b>7,334,655</b>	<b>7,089,364</b>	<b>7,652,351</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	<b>27,404,533</b>	<b>27,293,516</b>	<b>27,818,688</b>
資本金	10,117,065	10,117,065	10,117,065
資本剰余金	8,657,753	8,657,753	8,657,753
利益剰余金	11,529,707	11,418,454	11,943,799
自己株式	△2,899,992	△2,899,756	△2,899,929
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△69,534</b>	<b>△148,646</b>	<b>△54,426</b>
その他有価証券評価差額金	196,755	13,673	165,804
為替換算調整勘定	△266,290	△162,320	△220,230
<b>少数株主持分</b>	<b>723,857</b>	<b>1,010,115</b>	<b>933,053</b>
<b>純資産合計</b>	<b>28,058,856</b>	<b>28,154,984</b>	<b>28,697,315</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>35,393,511</b>	<b>35,244,349</b>	<b>36,349,666</b>

## ■ 四半期連結損益計算書の要旨

(単位:千円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2009年4月1日から 2009年9月30日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
売上高	8,119,128	7,575,492	17,099,478
売上原価	1,988,617	1,949,123	4,511,157
<b>売上総利益</b>	<b>6,130,510</b>	<b>5,626,369</b>	<b>12,588,321</b>
販売費及び一般管理費	6,417,954	6,437,014	12,960,959
<b>営業損失(△)</b>	<b>△287,443</b>	<b>△810,645</b>	<b>△372,638</b>
営業外収益	133,280	85,548	215,045
営業外費用	118,503	249,366	211,613
<b>経常損失(△)</b>	<b>△272,667</b>	<b>△974,462</b>	<b>△369,205</b>
特別利益	8,290	5,462	241,252
特別損失	51,590	1,663	66,936
<b>税金等調整前 四半期(当期)純損失(△)</b>	<b>△315,966</b>	<b>△970,664</b>	<b>△194,889</b>
法人税、住民税及び事業税	74,029	41,219	310,909
法人税等調整額	△34,794	△118,615	△172,845
<b>少数株主損益調整前 四半期純損失(△)</b>	<b>△355,202</b>	<b>—</b>	<b>—</b>
少数株主損失(△)	△117,889	△100,387	△242,198
<b>四半期(当期)純損失(△)</b>	<b>△237,312</b>	<b>△792,880</b>	<b>△90,754</b>

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:千円)

	当第2四半期	前第2四半期	前期
	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2009年4月1日から 2009年9月30日まで	2009年4月1日から 2010年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	108,553	946,364	902,661
投資活動による キャッシュ・フロー	△352,610	384,527	△87,214
財務活動による キャッシュ・フロー	△279,472	△181,688	△111,979
現金及び 現金同等物に係る 換算差額	△121,956	16,266	△34,294
現金及び 現金同等物の 増減額(△は減少)	△645,486	1,165,471	669,172
現金及び 現金同等物の 期首残高	9,965,456	9,296,283	9,296,283
現金及び 現金同等物の 四半期末(期末)残高	9,319,969	10,461,754	9,965,456

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

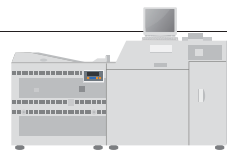
## Zuken Innovation 2010 レポート

## 電気・電子分野から産業機器分野まで 高い競争力を実現した お客さまのモノづくり、 最新事例を多数紹介。

図研グループの最新ソリューション紹介とお客さまによる事例発表からなる図研プライベート展。今年で通算第18回目となるプライベート展「Zuken Innovation 2010」を、横浜みなとみらい地区にあるパンパシフィック横浜ベイホテル東急で10月21日(木)・22日(金)に開催しました。過去最多のお申込みとなり、2日間で1,000名を超えるお客さまにご来場いただきました。お客さまによる事例発表は海外からの3社を含め12社にのぼり、図研グループおよびパートナー企業による事例発表を合わせ、29のセッションが行われました。2日間にわたるお客さまの事例発表の概要を、ご講演順にご紹介します。

### 10月21日 電気設計環境における革新活動への取り組み ノーリツ鋼機(株)様

「PreSight」、「DS-2」、「E<sup>3</sup>」、「CR-5000」を導入して行われた実設計者を巻き込んだ電気設計環境のモノづくり革新活動についてご講演。



### 10月21日 船舶用電子機器の品質向上に対する取り組み 古野電気(株)様



過酷な環境下で使用される機器の品質向上に向けた新設計環境について、回路図検証からノウハウ活用までご講演。

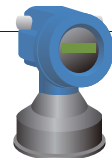
### 10月21日 二輪車電装開発環境におけるCAD活用 (株)本田技術研究所 二輪R&Dセンター様

開発効率の向上と「CR-5000/Cabling Designer」の資産有効活用を目指したCAD周辺機能開発と運用手法事例についてご講演。



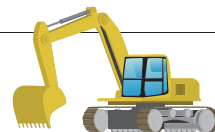
### 10月21日 グローバルな設計環境の協調からPLMの構築まで Endress+Hauser AG様

「CR-5000」、「DS-2」を用いて、スイス本社と世界各国の開発拠点にまたがる設計環境を統合した新しいシステムについてご講演。



### 10月21日 林業機械の強度信頼性解析への取り組み イワフジ工業(株)様

強度信頼性の解析環境を構築するため、「CATIA」を活用した設計の3次元化とその効果、今後の展開についてご講演。



### 10月21日 ノイズのない電気回路設計に向けた取り組み シャープ(株)様

ノイズを発生させない電気回路設計を実現させる、大規模シミュレーションを用いたEMCフリー設計の取り組みについてご講演。



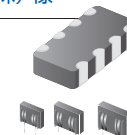
### 10月21日 鉄道車両用配線設計における新システム導入 東日本旅客鉄道(株)様



別プロセスで設計されていたシステム図、配線図、配線表を図研のシステムで統合し、工数削減を実現した事例についてご講演。

### 10月22日 設計初期段階におけるノイズ対策設計手法 パナソニック エレクトロニックデバイス(株)様

設計の初期段階におけるノイズ対策を実現した基板ルールチェックとシミュレーション解析技術を融合したソリューションについてご講演。



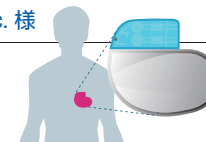
### 10月22日 構想設計プロセス革新に向けた取り組み アルパイン(株)様

より上流段階で製品を作り込むため、「System Planner」の活用を含む構想設計プロセス革新に向けた取り組みについてご講演。



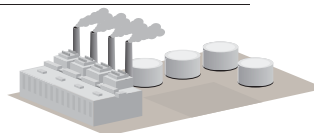
### 10月22日 先端医療機器開発を支える 設計環境統合 Medtronic, Inc. 様

図研のEDAとe-PLMソリューションを使った不整脈治療事業部の医療機器開発支援についてご講演。



### 10月22日 制御システムの信頼性向上策 三菱重工業(株)様

構想設計に威力を発揮する「System Planner」の導入による機能安全開発プロセスへの取り組みとメリットについてご講演。



### 10月22日 新グローバル・デザイン環境の構築 Research In Motion Limited 様



スマートフォン市場をリードするBlackBerryで知られる当社が「CR-5000」と「DS-2」で構築したグローバルな設計環境についてご講演。

#### 図研グループおよびパートナー企業による発表例

- EDAとPLMを融合させた新・開発支援プラットフォーム
- 熱問題のフロントローディングを実現するソリューション
- 図研の新PLM戦略「PreSight」のご提案
- XVLソリューションのご紹介
- 設計者CAEのススメ
- 開発上流における部品最適化活動の取り組み
- 次世代CADはここまで進化する\* など

\*「次世代CAD」の概要については、特集(3~4ページ)をご参照ください。

## Zuken in Worldwide



### In North America

## 米国アトランタで、 ユーザー参加の年次総会 「Z-DAC Americas 2010」を開催

会 期：2010年10月12日・13日  
開催地：米国ジョージア州アトランタ  
会 場：Grand Hyatt Atlanta

### 北米のお客さまとのネットワークを強化

10月12日(火)・13日(水)、米国ジョージア州アトランタで年次総会「Z-DAC Americas 2010」を開催しました。

「Z-DAC Americas」は、かつてのユーザー総会から発展したもので、ユーザーやサードパーティーによるセッションや、ユーザー同士が情報交換し組織の垣根を越えて、そのつながりを深めていく場を設けるなど、インタラクティブなユーザー重視のイベントとなっています。

会場には、アメリカやカナダから幅広い産業分野の経営者やエンジニアリング部門の責任者を中心に約70名のお客さまが一堂に会しました。広大な面積を誇る北米大陸のお客さまに配慮し、例年すべてのお客さまにご宿泊いただく形式で運営しています。

会期中に、30近いセッションが開催され、セッション後の質疑応答でも活発な議論が交わされました。希望するお客さまには、セッション終了後に、2005年にオープンした世界最大規模の水族館「ジョージア水族館」を訪ねるミニツアーも実施しました。



ミニツアーで訪れた世界最大規模の「ジョージア水族館」

今回、参加されたお客さまの中には、来年、日本で開催される「Zuken Innovation 2011」での事例発表を検討している企業もあるようです。今後も世界規模でお客さまとのネットワークを強化し、パートナーとして一層信頼されるように努めていきます。

勝部副社長によるオープニングスピーチでスタート

## インフォメーション

### 会社情報 (2010年9月30日現在)

#### 会社概要

社名 株式会社図研 ZUKEN Inc.  
設立 1976(昭和51)年12月17日  
資本金 101億1,706万5千円  
株式市場 東京証券取引所第一部  
従業員数 500名 連結1,301名  
平均年齢 36.7歳  
URL <http://www.zuken.co.jp/>

#### 役員

代表取締役社長 金子 真人  
代表取締役副社長 勝部 迅也  
専務取締役 嶋内 敏博  
取締役 上野 泰生  
取締役 飯屋 和浩  
取締役 相馬 肅一  
取締役 ゲルハルト・リプスキー  
監査役(常勤) 和田 扶佐夫  
監査役 斎藤 源次郎  
監査役 荒井 洋一  
監査役 三宅 錦之

#### 関係会社

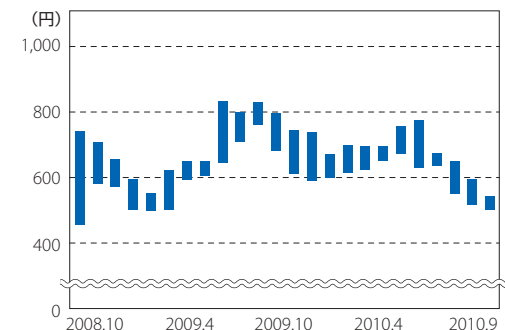
図研エルミック株式会社  
株式会社ジーサス  
図研ネットウエイブ株式会社  
インベンチュア株式会社  
株式会社キャドラボ  
株式会社チップワンストップ  
ZUKEN EAO(欧米9社)  
ZUKEN KOREA Inc.  
ZUKEN SINGAPORE Pte.Ltd.  
ZUKEN TAIWAN Inc.  
図研上海技術開発有限公司

### 株式情報 (2010年9月30日現在)

#### 株式の状況

会社が発行する株式の総数 ----- 86,525,700株  
発行済株式総数 ----- 27,903,669株  
株主数 ----- 13,656名

#### 株価推移




#### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
金子真人	4,500	17.82
金子真人ホールディングス株式会社	3,240	12.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,557	6.16
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフイー)サブアカウント アメリカンクライアント	832	3.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	831	3.29
日本生命保険相互会社	803	3.18
和田扶佐夫	800	3.17
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505044	688	2.72
金子みね子	580	2.29
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	514	2.03

(注)上記のほか、当社が所有している自己株式2,649千株があります。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
公告方法	電子公告 (当社ホームページ <a href="http://www.zuken.co.jp/e-koukoku/">http://www.zuken.co.jp/e-koukoku/</a> ) なお、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 および口座管理機関	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  0120-78-2031 取次業務は下記で行っております。 中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
証券コード	6947

### 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

口座をお持ちの証券会社にお申出ください。なお、特別口座で株式を管理されている株主の方は、口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際に送付する「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。配当金領収証にて配当金をお受取りの株主の方についても、本年より配当金お支払いの都度「配当金計算書」を同封しております。この書類は、確定申告を行う際にその添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主の方につきましては、源泉徴収額の計算は証券会社等にて行われるため、確定申告の添付書類のご確認はお取引の証券会社をお願いします。



株式会社 図研 <http://www.zuken.co.jp/>

本社・中央研究所	〒224-8585 横浜市都筑区荏田東2-25-1	TEL: 045-942-1511(代)
センター南ビル	〒224-8580 横浜市都筑区茅ヶ崎中央32-11	TEL: 045-942-1300(代)
新横浜ビル	〒222-8505 横浜市港北区新横浜3-1-1	TEL: 045-473-6868(代)
関西支社	〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ7F	TEL: 06-6343-1141(代)
名古屋支社	〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ3F	TEL: 052-222-3131(代)
仙台支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL: 022-267-9055(代)



この報告書は、環境に優しい植物油系インキを使用して印刷しています。